

Cさん	そうだったんですか。だからAさんは、精神障害や精神科病院に対して抵抗感がある感じなんですね。	
Dさん	ここまでEさんからはBさんの状況、CさんからはAさんの状況を説明していただきました。Bさんの担当はEさんで、Aさんの担当はCさん、という形になってしまっていますが、お話をうかがっていると、このままだと、うまくいかないような気がします。要介護高齢者のAさん・精神障害者のBさん親子が暮らす一つの世帯の支援を、どう進めていったらいいでしょうか？	

(3) 場面2の課題の検討 (15:25-16:05)

Eさんは、Bさんの了解を得て、Bさんの退院が近いことを地域包括支援センターのDさんに連絡しました。連絡を受けたDさんは、Aさん世帯を支援するためのケア会議を開催することにしました。Eさんは、Bさんの退院支援計画を立てていくうえでも、Aさんの支援者との情報の共有と支援の方向の擦り合わせが必要と考え、ケア会議へ出席することとしました。

Eさんは、Bさんへの支援を中心に据えて、ケア会議に参加しました。
 一方、Cさんは、Aさんへの支援を中心に据えて、ケア会議に参加しました。
 会議の場では、お互いが、「連携の難しさ」を痛感する形になってしまいました。

さて、それでは、どのような形で役割と責任の確認を行えば、その後の連携につながっていくでしょうか？ (i) Cさん・Dさん、(ii) Eさんの立場になって、考えてみてください。

その際、◆どのような言葉がけ (セリフ調で)、もしくは、◆どのような点に留意 (態度・行動など、具体的に) すればいいか、実際の場面を想定して具体的に考えてください。

- ①個人ワーク (3分間)・・・一人あたり2つ (多くあればなお良い) 具体的に挙げて、ワークシートに書き出してください。日頃の実施の有無に関わらず、自由に書き出してください。
- ②グループワーク (10分間)・・・グループ内で、(i) Cさん・Dさん、(ii) Eさんの2組 (2~4人) に分かれて、個人ワークの内容を共有してください。共有後、その内容をもとに (+αしてよい)、
「よりよい形での役割と責任を確認」をまとめてください。
- ③まとめた意見のロールプレイ (3分間)・・・③でまとめた意見をもとに、グループ内で、Cさん役1人、Eさん役1人での、ケア会議場面のロールプレイを行ってください。
役のないグループメンバーは、ロールプレイを観察してください。
- ④気づきの共有 (6分間)・・・ロールプレイをやって (観察して) みての気づきを共有してください。

- ⑤代表グループ1つが、前に出てロールプレイ（3分間）・・・他の参加者は、観察してください。
- ⑥ポイントの確認（5分間）・・・講師が解説します。
- ⑦ポイント確認をもとに、修正版でのロールプレイ内容を、グループで検討（5分間）
- ⑧修正版でのロールプレイ（3分間）・・・最初のロールプレイで観察者役だった参加者が行ってください。役のないグループメンバーは、ロールプレイを観察してください。

*****ここで5分間休憩します（16:05-16:10）*****

6. 研修のまとめ（16:10-16:30）

◆連携のプロセスと留意点の確認（16:10-16:20）

◆研修後アンケートの記入（16:20-16:30）

◆研修の終了（16:30）

事例の概要(1)

居宅介護支援事業所・地域包括支援センター所属の受講者用

※精神保健福祉士の受講者とは異なる内容を配布しています。
事例検討終了まで、見せ合うことのないようにお願いします。

1. Aさんについて

- ・女性、77歳。
- ・要介護度2の認定を受けている。担当の介護支援専門員はCさん。
- ・週3回のデイサービスと、1日おきに訪問介護サービスを利用している。
- ・夫が6か月前に他界し、次男Bさん(50歳)との二人暮らしになった。
- ・自宅は持ち家。年金での生活で、経済的な課題は特になし。

2. Bさんについて

- ・Aさんの次男、50歳。未婚。
- ・Bさんに精神障害があることを、CさんはAさんから聞いて知っている。Bさんの支援はAさんの夫が中心的に担っており、夫の存命中は特に問題になることはなかった。

3. Cさん(居宅介護支援事業所所属の介護支援専門員)に対応が求められる課題

- ・1か月前から、Aさんがケアプラン通りのサービスを利用できなくなっている。デイサービスの迎えに行った際、BさんがAさんのデイサービスへ行くことを妨げることと、ヘルパー訪問時にヘルパーが家に上がることをBさんが拒否するためである。
- ・Cさんは、一度はBさんへの面談を試みたが拒否されてしまい、面談できていない。

4. CさんからDさんへの相談

- ・Aさんへの支援をどう進めていいか困ったCさんは、Dさん(女性、地域包括支援センターに所属する主任介護支援専門員)に相談した。

事例の概要(2)

精神保健福祉士の受講者用

※居宅介護支援事業所・地域包括支援センター所属の受講者とは異なる内容を配布しています。

事例検討終了まで、見せ合うことのないようにお願いします。

1. Bさんについて

- ・男性、50歳。未婚。
- ・統合失調症。通院する精神科病院の担当精神保健福祉士はEさん。
- ・大学在学中の21歳～24歳まで、精神科病院に入院。退院後は、両親の支援を受けて、月1回の精神科病院への通院を継続しながら、再度入院することなく、自宅で両親と3人で暮らしてきた。

2. Bさんの家族について

- ・Bさんの支援の中心となっていたのは父親。月1回の通院も、父親が同伴していた。
- ・母親であるAさんがデイサービスやホームヘルパーを利用していることは、父親からの話で聞き、知っている。
- ・父親が6か月前に他界。Bさんは、母親のAさん(77歳)との二人暮らしとなった。
- ・5か月前、Bさんの通院予約をキャンセルする電話が病院宛にかかってきた。父親が他界したとのことで、通院日はあらためて調整することになったが、その後連絡はなく、Bさんの通院は途絶えたままとなっている。
- ・母親であるAさんは、次男Bさんの発症時、家庭内で繰り返しBさんから暴力を振るわれた経験がある。

3. Eさん(精神科病院の精神保健福祉士)について

- ・Eさんは、PSWになって3年目。そして、Bさんの担当PSWになって2年目。
- ・Eさんが、Bさんの家族として会っていたのは父親のみで、母親であるAさんとは一度も会ったことはない。
- ・Bさんの支援を中心的に担い、Bさんの精神的な拠り所にもなっていた父親の他界により、生活環境の変化が大きいことが予想される。
- ・Bさんの通院は途絶えており、精神症状が不安定となっている可能性がある。

介護支援専門員と精神保健福祉士の連携促進研修 開始前アンケート調査票

このたびは受講頂きありがとうございます。受講者のニーズを把握し今後の研修内容を検討するため、下記のアンケートにご回答ください。結果はすべて数値化されますので個人は特定されません。また、このデータは研究目的にのみ使用されます。ご協力をお願い致します。

質問 1. この研修を受講された動機として、下記の項目はそれぞれどの程度当てはまりますか。数字を1つ選び、○で囲んでください。

	よくあてはまる	ほぼあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
1) 提示された内容が学びたいことと一致していた	5	4	3	2	1
2) 介護福祉領域と精神保健医療福祉領域の連携に困っている	5	4	3	2	1
3) 精神疾患／障害のある人の支援に困ることが多い	5	4	3	2	1
4) 精神科医療と介護との連携を要する事例の支援に役立つかもしれないと思った	5	4	3	2	1
5) プログラムの内容に興味を持てた	5	4	3	2	1
6) 精神科医療と介護との連携に関する知識を得るような研修会(機会)が他にない	5	4	3	2	1
7) 職場から参加を勧められた	5	4	3	2	1
8) 受講料が無料である	5	4	3	2	1
9) 会場が通える範囲だった	5	4	3	2	1
10) 午後 3 時間という日程が参加しやすい	5	4	3	2	1
その他、受講理由・動機となったことがありましたらご記入ください。					

質問 2. 精神科医療と介護との連携に関する研修会に参加したことはありますか。当てはまる番号1つに○をしてください。

「2. ある」場合は、具体的にどのような内容のものだったかをお書きください。

1. ない 2. ある

「2. ある」場合は、具体的内容をご記入ください。

質問 3. 現在のあなたの状況として、下記の項目はそれぞれどの程度当てはまりますか。数字を1つ選び、○で囲んでください。

	よくあてはまる	ほぼあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
1) 精神疾患／障害のある利用者への支援経験がある	5	4	3	2	1
2) 精神疾患／障害者の同居家族への支援経験がある	5	4	3	2	1
3) 介護支援専門員と一緒に支援活動をした経験がある	5	4	3	2	1
4) 精神保健福祉士（PSW）と一緒に支援活動をした経験がある	5	4	3	2	1
5) 実務上、介護保険サービス機関と連携する機会が多い	5	4	3	2	1
6) 実務上、精神科医療福祉の関係機関と連携する機会が多い	5	4	3	2	1
7) 介護保険サービス機関とのカンファレンス機会が多い	5	4	3	2	1
8) 精神科医療福祉の専門職を交えたカンファレンス経験が多い	5	4	3	2	1
9) 身近に相談できる介護保険サービスの専門家がいます	5	4	3	2	1
10) 身近に相談できる精神保健医療福祉の専門家がいます	5	4	3	2	1
11) 実務上、介護保険サービス機関との連携に困ることが多い	5	4	3	2	1
12) 実務上、精神科医療福祉機関との連携に困ることが多い	5	4	3	2	1
13) 介護保険サービスを利用者とかかわることに不安を感じる	5	4	3	2	1
14) 精神疾患／障害のある人とかかわることに不安を感じる	5	4	3	2	1
15) 介護保険サービスを利用する人への支援は難しいと感じる	5	4	3	2	1
16) 精神疾患／障害のある人への支援は難しいと感じる	5	4	3	2	1
17) 介護保険サービス機関との連携は難しいと感じる	5	4	3	2	1
18) 精神科医療福祉機関との連携は難しいと感じる	5	4	3	2	1
19) 介護保険サービスに関する知識を得る手段は多くある	5	4	3	2	1
20) 精神保健医療福祉制度やサービスの知識を得る手段は多くある	5	4	3	2	1
その他、この研修企画に関わる現在のあなたの状況や問題意識があれば、自由にご記入ください。					

資料2-①

質問4. この研修プログラムで取り上げる次の内容について、あなたは現時点でどの程度理解できているとお考えですか。もっともよくあてはまる数字を1つ選び、○で囲んでください。

	よく理解できている	ある程度理解できている	どちらともいえない	あまり理解できていない	全く理解できていない
1) 精神科医療と介護との連携の現状と問題点	5	4	3	2	1
2) 要介護者等もしくは精神障害の人に対するケアマネジメントの課題について	5	4	3	2	1
3) 関係機関・関係者と連携する際の最初の連絡方法	5	4	3	2	1
4) 世帯として支援する際のニーズアセスメントの方法	5	4	3	2	1
5) 要介護者等もしくは精神障害の人に対する介護保険制度、医療制度、そして各種サービスの知識	5	4	3	2	1
6) 要介護者等もしくは精神障害の人に対する法制度やサービスの知識	5	4	3	2	1
7) 介護支援専門員もしくは精神保健福祉士に関する知識	5	4	3	2	1
8) 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、そして精神科医療機関との連携のための知識と技術	5	4	3	2	1
9) 介護分野もしくは精神保健福祉分野の専門職との連携のための知識と技術	5	4	3	2	1

質問5. ご自身のことについてうかがいます。当てはまる番号を○で囲み、もしくは数値等をご記入ください。

①性別

1. 男 2. 女

②年齢

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代

③現在の所属種別

1. 居宅介護支援事業所 2. 地域包括支援センター
3. 精神科病院 4. 障害者相談支援事業所 5. その他 ()

④現在の職種

1. 介護支援専門員 2. 精神保健福祉士 3. その他 ()

⑤現在の職種（勤務先が変わった場合も含めて）での通算実務経験年数

_____年 _____か月

⑥保健医療福祉関係（職種が変わった場合も含めて）での通算実務経験年数

_____年 _____か月

⑦所持している保健医療福祉関係の資格（あてはまる全ての番号に○）

1. 介護支援専門員 2. 精神保健福祉士 3. 介護福祉士 4. 社会福祉士
5. 看護師 6. その他 ()

ご協力いただきありがとうございます

介護支援専門員と精神保健福祉士の連携促進研修 終了後アンケート調査票

このたびは受講頂きありがとうございました。研修の評価を行うため、下記のアンケートにご回答ください。結果はすべて数値化されますので個人は特定されません。また、このデータは研究目的にのみ使用されます。ご協力をお願い致します。

質問 1. 本日の研修プログラムについて、当てはまる番号を○で囲んでください。

	そう思う	思う程度そう	えんない どちらともい	わ あまりそう思	そう思わない
1) 講義内容がわかりやすかった	5	4	3	2	1
2) 配布資料がわかりやすかった	5	4	3	2	1
3) 講師の説明方法が適切であった	5	4	3	2	1
4) 時間の設定が適切であった	5	4	3	2	1
5) 積極的に参加できる課題設定であった	5	4	3	2	1
6) 今後、利用者やその家族を支援するうえで役立つ内容であった	5	4	3	2	1
7) 受講前よりは、連携に対する抵抗感が軽減した	5	4	3	2	1
8) 今後どのように関係機関・関係者と役割とその責任を分担していけばよいかを、具体的にイメージする機会になった	5	4	3	2	1
9) 本日のプログラム内容は満足できるものだった	5	4	3	2	1
10) 参加してよかった	5	4	3	2	1
<p>その他、評価できる点／評価できない点があればご記入ください。</p> <p>「2」または「1」に○をされた項目があれば、今後の改善を目指すため理由を教えてください。</p>					

資料2-②

質問2. この研修プログラムで取り上げた次の内容について、あなたは現時点でどの程度理解できているとお考えですか。もっともよくあてはまる数字を1つ選び、○で囲んでください。

	よく理解できている	ある程度理解できている	どちらともいえない	あまり理解できていない	全く理解できていない
1) 精神科医療と介護との連携の現状と問題点	5	4	3	2	1
2) 要介護者等もしくは精神障害の人に対するケアマネジメントの課題について	5	4	3	2	1
3) 関係機関・関係者と連携する際の最初の連絡方法	5	4	3	2	1
4) 世帯として支援する際のニーズアセスメントの方法	5	4	3	2	1
5) 要介護者等もしくは精神障害の人に対する介護保険制度、医療制度、そして各種サービスの知識	5	4	3	2	1
6) 要介護者等もしくは精神障害の人に対する法制度やサービスの知識	5	4	3	2	1
7) 介護支援専門員もしくは精神保健福祉士に関する知識	5	4	3	2	1
8) 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、そして精神科医療機関との連携のための知識と技術	5	4	3	2	1
9) 介護分野もしくは精神保健福祉分野の専門職との連携のための知識と技術	5	4	3	2	1
その他、理解できたこと、もしくは理解できなかったことがあればご記入ください。					

資料 2-②

質問 3. 本日の研修プログラムに参加されたご自身を、どのように評価されますか。
当てはまる数字を1つ選び、○で囲んでください。

	そう思う	ある程度思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
1) 積極的に参加することができた	5	4	3	2	1
2) 内容を十分理解することができた	5	4	3	2	1
3) 内容に興味・関心を持つことができた	5	4	3	2	1
4) 刺激を受けて、意欲が高まった	5	4	3	2	1
5) 研修を通し、日常業務を振り返ることができた	5	4	3	2	1
その他、達成できた／できなかったこと、気づいたことなどがありましたら、ご記入ください。					

質問 4. 研修プログラム終了後のあなたの状況として、下記の項目はそれぞれどの程度当てはまりますか。数字を1つ選び、○で囲んでください。

	よくあてはまる	ほぼあてはまる	どちらともいえない	あまりあてはまらない	全くあてはまらない
1) 介護保険サービスを利用者とのかかわることに不安を感じる	5	4	3	2	1
2) 精神疾患／障害のある人とのかかわることに不安を感じる	5	4	3	2	1
3) 介護保険サービスを利用する人への支援は難しいと感じる	5	4	3	2	1
4) 精神疾患／障害のある人への支援は難しいと感じる	5	4	3	2	1
5) 介護保険サービス機関との連携は難しいと感じる	5	4	3	2	1
6) 精神科医療福祉機関との連携は難しいと感じる	5	4	3	2	1
その他、この研修企画に関わるあなたの状況に関して、受講後に変化した点、変化しなかった点、引き続き残されている課題などがあれば、ご記入ください。					

ご協力いただきありがとうございました

「第2回 介護支援専門員と精神保健福祉士の連携促進研修」タイムスケジュール

平成26年11月10日(月) 13時30分～16時30分

サテライトキャンパスひろしま 505会議室

時間	内 容	備 考
13:30～13:40 (10分)	〈開会〉 ◆開会あいさつ ◆オリエンテーション ◆研修前アンケートの記入	
13:40～14:05 (25分)	第1回研修の成果と課題(講義) －アンケート結果の考察から－	
14:05～14:25 (20分)	〈ワークショップの具体的進め方の説明〉 ◆事例検討の進め方の説明 ◆グループ内での自己紹介	
14:25～14:30 (5分)	休憩	
14:30～15:15 (45分)	〈場面3「関係機関・職種と情報を共有する段階」の事例検討〉 (1) 場面3と課題の説明 (2) 場面3のロールプレイを見る (3) 場面3の課題の検討	〈場面3 : グループでの課題検討の流れ〉 ①個人ワーク (3分間) ②グループワーク (10分間) ③まとめた意見のロールプレイ (3分間) ④気づきの共有 (6分間) ⑤代表グループ1つが、前に出てロールプレイ (3分間) ⑥ポイントの確認 (5分間) ⑦ポイント確認を踏まえて、各グループで行ったロールプレイの振り返り (よかった点の確認や、よりよい方法についての意見交換など) (5分間)
15:15～15:25 (10分)	休憩	
15:25～16:00 (35分)	〈連携に関するグループワーク〉	
16:00～16:20 (20分)	〈全体のまとめ〉	
16:20～16:30 (10分)	〈研修の終了〉 ◆研修後アンケートの記入 ◆終了のあいさつ	

「第2回 介護支援専門員と精神保健福祉士の連携促進研修」

平成26年11月10日（月）13時30分～16時30分

サテライトキャンパスひろしま 505会議室

1. 開会（13:30-13:40）

◆開会のあいさつ

「介護サービス施設・事業所等介護支援における精神保健福祉士の活動評価及び介入方法研究」研究班

責任者：金子努（平成26年度厚生労働科学研究費補助金（障害者対策総合研究事業（精神障害分野）分担研究者）

◆オリエンテーション

- 第2回研修の趣旨説明
- 講師（研究班構成員）の紹介
- 配布資料の確認
- スケジュールの確認
- その他の確認・伝達事項

◆研修前アンケートの記入

2. 第1回研修の成果と課題（講義）－アンケート結果の考察から－（13:40-14:05）

3. ワークショップの具体的な進め方の説明 (14:05-14:25)

◆事例検討の進め方の説明

○第1回研修と同じ要介護の母(Aさん、77歳)と精神障害の息子(Bさん、50歳)との二人暮らしの事例に対してどのように支援を展開していくか、グループ(6人もしくは5人)で検討していきます。

○事例についてのイメージを共有するため、第1回資料をもとに確認を行います。

- ・14～15頁・・・事例の概要
- ・16頁・・・場面1の課題：「関係機関・職種に協力の打診をする段階」(冒頭部分のみ)
- ・22頁・・・場面2の課題：「関係機関・職種との間で役割と責任を確認する段階」(冒頭部分のみ)

○事例検討は、参加者全員が、次の役割になって進めていきます。

- ・居宅介護支援事業所所属の介護支援専門員の受講者
 - ・・・Cさん(Aさんを担当する居宅介護支援事業所の介護支援専門員)
- ・精神保健福祉士(精神科病院・障害者相談支援事業所とも)の受講者
 - ・・・Eさん(Bさんが通院している精神科病院の精神保健福祉士)

※ロールプレイの際には、事例の中に登場する他の人の役を設定して進めていただいても構いません。

○事例検討は、連携の段階(下記)に沿って進めます。

1. 関係機関・職種に <u>協力を求めよう</u> と考える段階
2. 関係機関・職種に <u>協力の打診をする</u> 段階
3. 関係機関・職種と協力して支援に取り組む <u>目的を確認し一致させる</u> 段階
4. 関係機関・職種との間で <u>役割と責任を確認する</u> 段階
5. 関係機関・職種と <u>情報を共有する</u> 段階
6. 関係機関・職種と <u>連続的な協力関係を展開する</u> 段階

第1回研修では、「2. 関係機関・職種に協力の打診をする段階」と、「4. 関係機関・職種との間で役割と責任を確認する段階」を取り上げました。

第2回研修では、「5. 関係機関・職種と情報を共有する段階」と、「6. 関係機関・職種と連続的な協力関係を展開する段階」の2つの段階を取り上げて、グループでの検討を行っていきます。

○この研修プログラムは、第1回研修の成果と課題を踏まえて、研究班にて作成したものです。

◆グループ内での自己紹介

○1人1分間の持ち時間(席の順番)で、次の内容で自己紹介をしてください。

- (1) 所属、名前
- (2) 第1回研修の感想と、今日の目標
- (3) その他、自由に

※充実した事例検討となるよう、皆様のご協力をお願いします。

****ここで5分間休憩します(14:25-14:30)****

4. 場面3「関係機関・職種と情報を共有する段階」の事例検討(14:30-15:15)

(1) 場面3と課題の説明(14:30-14:35)

【場面3の課題：「関係機関・職種と情報を共有する段階」】

Bさんの退院が、一週間後になりました。精神科病院に入院中の人の退院支援に関しては、退院前に精神保健福祉士などの病院職員が本人とともに退院後の住まいを訪問し、本人の意向や生活環境、家族関係などを考慮しながら調整を行う場合、「精神科退院前訪問指導料」として診療報酬の算定ができます。Eさん(Bさん担当の精神保健福祉士)は、この退院前訪問時に、Aさん担当の介護支援専門員であるCさんにも連絡をとり、自宅で、Bさん、同居するAさん(母親)、Cさん、Eさんの4人が顔を合わせ、退院後の生活について話す機会を設定しました。

(その場面のロールプレイを、この後、見ていただきます。)

この後、どのような形で関係機関・職種と情報を共有すれば、連続的な協力関係の展開につながっていくでしょうか。(i) Cさん、(ii) Eさんの立場になって、考えてみてください。

その際、◆どのような言葉がけ(セリフ調で)、もしくは、◆どのような点に留意(態度・行動など、具体的に)すればいいか、実際の場面を想定して具体的に考えてください。

- ①個人ワーク(3分間)・・・一人あたり2つ(多くあればなお良い)具体的に挙げて、ワークシートに書き出してください。日頃の実施の有無に関わらず、自由に書き出してください。
- ②グループワーク(10分間)・・・グループ内で、(i) Cさん役、(ii) Eさん役の2組(各2~3人)に分かれて、個人ワークの内容を共有してください。共有後、その内容をもとに(+αしてよい)、その後の連続的な協力関係の展開につながるような、「よりよい形での情報の共有方法」をまとめてください。
- ③まとめた意見のロールプレイ(3分間)・・・②でまとめた意見をもとに、グループ内で、Cさん役1人、Eさん役1人でのロールプレイを行ってください。
(必要に応じて、他の登場人物の役を設定しても構いません)
役のないグループメンバーは、ロールプレイを観察してください。
- ④気づきの共有(6分間)・・・ロールプレイをやって(観察して)みての気づきを共有してください。
- ⑤代表グループ1つが、前に出てロールプレイ(3分間)・・・他の参加者は、観察してください。
- ⑥ポイントの確認(5分間)・・・講師が解説します。
- ⑦ポイント確認を踏まえて、各グループで行ったロールプレイの振り返り(よかった点の確認や、よりよい方法についての意見交換など)を行ってください。

(2) 場面3のロールプレイを見る (14:35-14:40)

【登場人物】

- ・ Aさん・・・要介護の母 (77歳)
- ・ Bさん・・・精神障害の息子 (50歳)
- ・ Cさん・・・Aさんを担当する居宅介護支援事業所の介護支援専門員
- ・ Dさん・・・地域包括支援センターの主任介護支援専門員
- ・ Eさん・・・Bさんが通院している精神科病院の精神保健福祉士

<Aさん、Bさん、Cさん、Eさんの4人が、自宅にて話をする場面>

名前	会話の内容	メモ
Eさん	Bさん、退院が一週間後になりましたね。久しぶりのご自宅は、いかがですか。	
Bさん	早く退院したい。	
Eさん	そうですね、ご自宅に早く帰ってきたいですね。	
Bさん	(うなづく)	
Eさん	Bさんは、ご自宅に帰ってきてからは、どんな生活をしたいとおっしゃいますか。	
Bさん	うーん。前と同じ。	
Eさん	「前と同じ」というのは、例えば、どんなことでしょうか。	
Bさん	うーん。時々、本を買いに行つて・・・。	(場面1の話題より)
Eさん	そうですね。本を買いに行つたりされたいんですね。	
Bさん	・・・スーパーにも行く。	(場面1の話題より)
Eさん	スーパーにも行かれるんですね。他に何かありますか。	
Bさん	・・・家にいたい。	
Eさん	ご自宅でゆっくり過ごされたいということですね。	
Bさん	(うなづく)	
Eさん	Bさん、ご自宅に帰られてからは、お母さんと二人での生活になりますね。お母さんのところには、以前から、ホームヘルパーが来たり、デイサービスの送迎が来たりしていたと思います。Bさんの退院後、ヘルパーやデイサービスの送迎についてはどう思われるか、気持ちを聞かせてもらえますか？	(場面1・2の話題より。入院前、Bさんがヘルパーや送迎を拒否。入院後、ヘルパーが家に入ってきたり、デイサービスで母親が家を不在にすることに納得していない、利用をやめてほしいと主張している。)
Bさん	(しばらく沈黙後、ぶげんとした感じで) 別に・・・。来てもいいですよ・・・。	(Bさんは退院したい一心。)

Cさん	Aさんの方は、いかがですか。	
Aさん	(心配そうに) できれば、私は今のヘルパーさんに来てもらえたらうれしいんですけど・・・。	(息子の悪化を心配し、サービス利用を控えることも考えている)
Cさん	そうですね、Aさんは、今のヘルパーさんが来るのを、楽しみにされていますよね。デイサービスの方はどうですか？	(場面2の話題より)
Aさん	はい・・・。できれば、行きたいんですけど・・・。	
Cさん	そうですね、デイサービスも、他に来られている皆さんとおしゃべりするの楽しいって、言われていましたよね。	(場面2の話題より)
Aさん	はい・・・。	
Cさん	Aさんは、ヘルパーも、デイサービスも、今までどおり利用を希望されるということで、いいでしょうか？	
Aさん	(しばらく沈黙し、うなづく)	
Eさん	Bさん、Aさん、お気持ちをきかせていただいてありがとうございました。私は、Cさんとも協力しながら、Aさん、Bさんの生活を支援していきたいと思っています。	
Cさん	そうですね、私も、お二人の生活を、支援していきたいです。	

